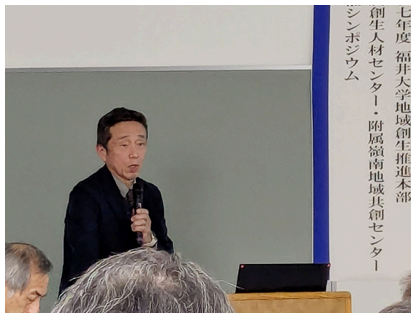


② 嶺南地域中学校を中心とした探究学習推進プロジェクト



福井大学 教育・人文社会系部門教員養成領域
教師教育講座
教授 清川 亨

講演資料

嶺南地域中学校を中心とした 探究学習推進プロジェクト

福井大学大学院連合教職開発研究科
清川 亨

探究学習

●目的

生徒が**自ら問いを立て**、
情報収集・分析・協働を通じて
課題解決を目指す「主体的な学び」で、
知識の習得だけでなく、
思考力・創造力・問題解決能力など
「生きる力」を育むこと

探究学習の現状

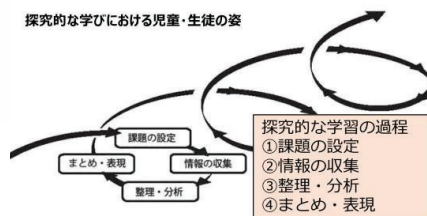
■文部科学省

探究的な学びは、学習指導要領において、総合的な学習（探究）の時間を中心として、様々な教科等に位置づけられている。

探究的な見方・考え方

（小学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編）

各教科等における見方・考え方を総合的に活用して、
広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉え、**実社会・
実生活の課題を探究し、自己の生き方を問い続ける**
こと。



「質の高い探究的な学び」は、これからの社会と教育課題
(諮問文の「検討の前提」)の全体につながるテーマ

子供たちを取り巻く
これからの社会

自らの人生を舵取りする
力を身につけること



持続可能な社会の
創り手となること



豊かな可能性を
開花できること



子供一人ひとりに目を
向けた時に見えてきた課題

子供の社会参画
の意識



知識と現実の事象
を関連付けて理解



将来の夢を持つ
子供の割合



深い理解を伴う
知識の習得



自律的に学ぶ
自信



「自分の考え」
を書くこと



中央教育審議会 教育課程企画特別部会 資料

令和6年度全国学力・学習状況調査

「探究的な学び」に取り組む児童生徒は、

- 授業で「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」割合が高い傾向
- 授業で学んだことを「次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりできる」割合が高い傾向
- 「自分の考えをまとめる活動を行っていた」割合が高い傾向
- 「自分で学び方を考え、工夫できる」割合が高い傾向
- 「地域を良くするために何かしてみたいと思う」割合が高い傾向

嶺南地区の現状認識とプロジェクトの方向性

■現状認識（令和6年：清川）

○高校：総合的な探究の時間が定着してきている。

○中学校：

①調べ学習であったり、先生の引いたレールを進む学習の学校がある。

②探究学習への転換が図られている学校もある。

○小学校：探究的な活動に向けて動き出した学校も出始めている。

●探究の方法や評価など、引き続き大学からの支援が欠かせない状況

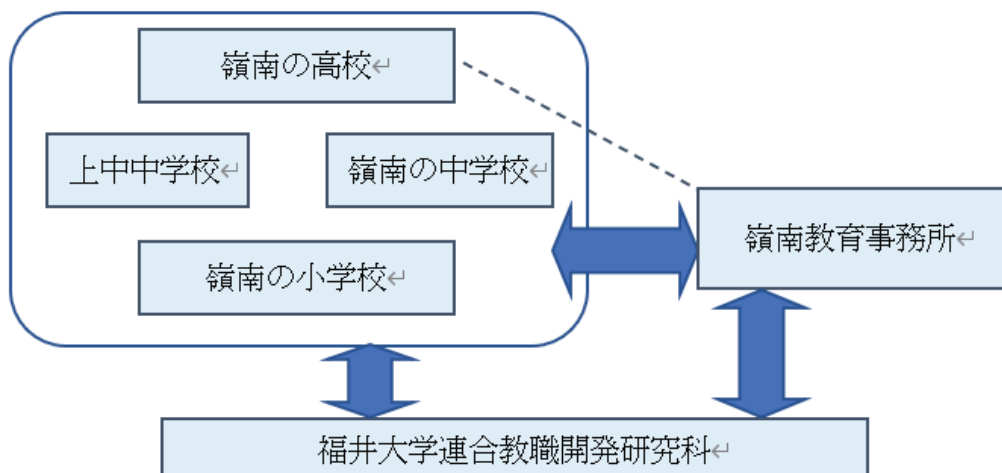
■方向性

★メインターゲット：中学校

理由：何より高校の探究への接続、小学校への刺激。

このことは、将来の嶺南地区の課題解決に大きく資する。

★支援校の考え方：特定の学校の探究学習を支援 ⇒ 他校へ波及



R7年度の取組み

I カンファレンスや研修会

- ①探究学習カンファレンス、②探究研修会、③視察と報告会

II 学校支援

- ①上中中、②栗野中、③小浜第二中、④高浜中、⑤大島小
⑥西津小、⑦中郷小、⑧栗野小、⑨梅の里小、⑩若狭高

III 教育委員会との情報共有

- 嶺南教育事務所
- 敦賀市、●小浜市、●若狭町、●おおい町

I ①探究学習カンファレンス

ふるプロ第3ステージ「つくる・かかわる」キックオフ

オンライン

嶺南探究カンファレンス

令和7年

5月7日(水) 開催

15:15～16:30 15:00 受付(接続)

ゲスト

福井大学教職大学院

清川 亨 先生

- 参加者数 8校12人
中学校3校 4人
小学校4校 6人
高校1校 1人
嶺南教育事務所1人

嶺南地区の皆さんで、探究(学習)について情報交換をしたいと思います。

- ◆ 探究にこれから取り組もうと思っている方
- ◆ 探究に取り組んでいるが壁に当たっているという方
- ◆ 探究に取り組んで何となくコツがわかってきた方

それぞれの立場で語り合いませんか。

- 第2回 2月下旬予定

いきなり調べ学習、ではなく、まずは自分の好きって何かを見つける時間を1学期につ作るとい事例がいいなあと思いました。何に興味があるか自分のことを知ることも大事だと思いました。

教科授業も、特活も、総合も、部活も、家庭学習も、探究という視点で見たら、全部繋がっています。まさに生きることは探究！そんな学校を先生たちや子どもたちとつくってきたいです。今日はありがとうございました。

これまで、何回か探究的な学びについて研修を受講したが、なかなか具体的な場を想像することができませんでした。清川先生がおっしゃっていたように具体→具体は問題が発生するからなんだと思います。そこで、どのような資質・能力を育成したいかというベクトルは揃えますが、教員が探究を楽しむ気持ちでとりあえず取り組んで修正していきたいと思いました。本日はありがとう

どの学校の先生も悩みながら進めておられることがわかった。いろんな学びの機会を与えてもらっているので、主体的に学んでいこうと思う。探究を探究していきたい。

②探究学習研修会

R7 福井大学 嶺南地域中学校を中心とした探究学習推進プロジェクト

「探究学習を経験してみよう！」研修会

日時 2026年2月9日(月) 15:00~16:40

会場 パレオ若狭

対象 学校で探究学習の支援をされている方 等

定員 30名程度

講師 溝上 広樹 先生

崇城大学総合教育センター 准教授
教職員支援機構 NITS フェロー



プログラム 講師のお話とアクティビティ

参加費 無料

探究学習は子どもたちが生き方を学ぶものです。でも、探究学習の伴走をしながら「これでよいのだろうか…」と感じる時もあるのではないのでしょうか。今回は、探究学習に関わる皆さんに改めて探究を経験していただき、その後の探究学習の支援、あるいは校内研修等のヒントになればと思っています。難しく考えず気軽にご参加ください。

③視察

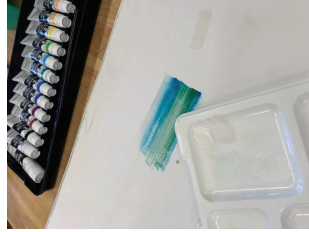
- 日時：令和8年2月3日
- 視察校：愛知県 東浦町立緒川小学校
⇒ 自由進度学習を40数年実施
- 参加者：5人（探究を支援している小学校5校から）
- 報告会：第2回探究学習カンファレンスで報告

Ⅱ 学校支援 ①上中中学校

- 目指す生徒像「自律・協働・創造する生徒」
⇒ 研究主題「自律・協働・創造する生徒の育成」
- 経緯
 - 令和5年：探究支援生徒 ● 教員 ● 探究研修会 ● ●
 - 令和6年：探究支援 ● ● 探究研修会 ●
 - 令和7年：探究支援 ● ●
- 特徴
 - 生徒：My探究 毎週金曜日5・6限目
⇒ 12月 中間発表会、2月 マイ・ストーリー発表会
 - 教職員：My研究

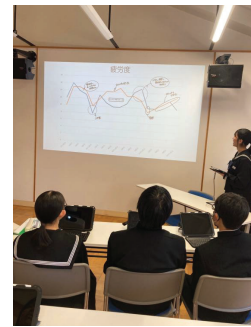
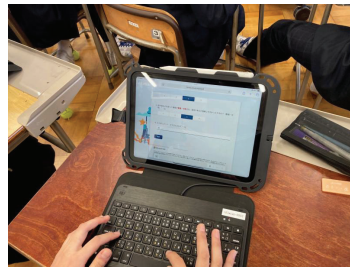
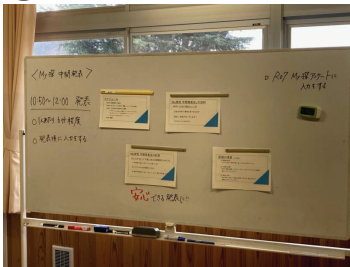
①上中中学校

・生徒の様子(一部R6含)

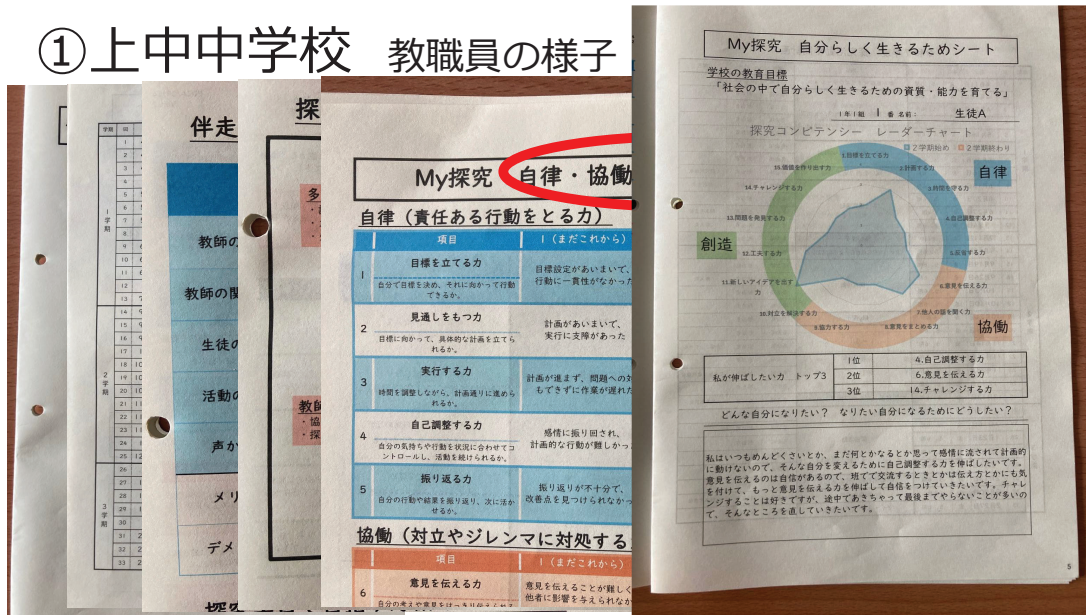


①上中中学校

中間発表会



① 上中中学校 教職員の様子

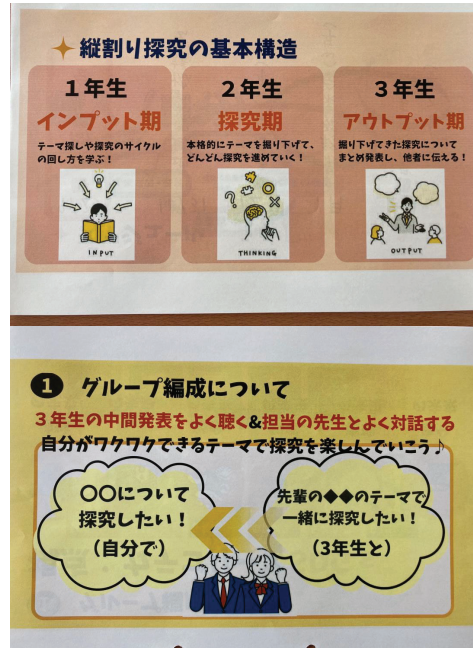
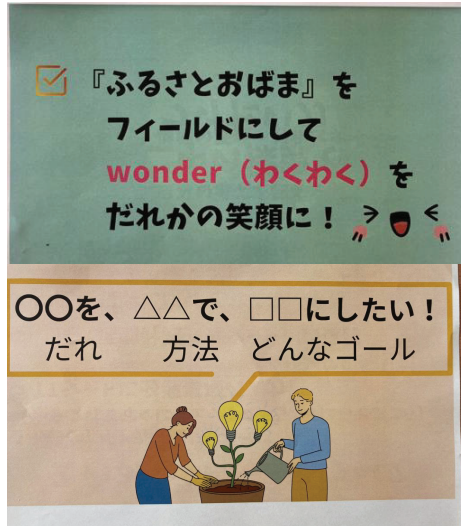


② 栗野中学校

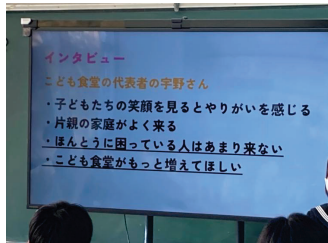
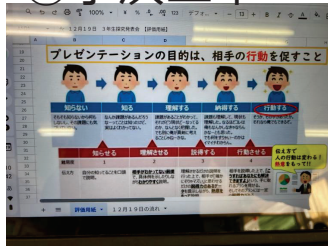
- 学校訪問：
 - ① 情報交換（メール等でも実施）
 - ② 探究学習確認および支援
- 1・2年生徒「探究」研修会
- 特徴
 - 水曜日 6限が主の活動時間 + 毎朝20分の活動の時間
 - 2年生
 - ① **OUR探究** ⇔ 「敦賀の発展のためにできること」
 - ② **my探究** ⇔ 「敦賀の未来」 × 「関西万博」 × 「自己の未来」
で「問いづくり」に取り組む
- 1年生：敦賀市の良さを見直そう（嶺北との違いは）。

③小浜第二中学校

■特徴：縦割り探究



③小浜二中



1	探究テーマ	学ぶ意味とは
2	このテーマにした理由	多くの人が「なぜ勉強するのか」や「なぜ学ぶのか」という考えを持つ
3	探究目標 (結果予期)	自分自身の学ぶ意味を言語化できるくらい明確にする
4		探究課題解決へのToDoリスト (Doしたらチェック)
5	学ぶ目的について①	
6	<input checked="" type="checkbox"/> 今、学んでいることは?	
7	<input checked="" type="checkbox"/> なぜ学ぶ? (自分なりに)	
8		
9		
10	意識するポイント(結果予期)	学習計画 (実行確認)
11	本時のゴール	学ぶ目的について考え込む
12	本時のゴールについて語り合う	学ぶ目的について話す
13	本時の自分目標	
14	学ぶ目的を考える	次の時間の計画・振り返り
15		合計 7
16	本時のゴール	計画以上に進んだ
17	スライド完成&探究のまとめ	次の時間に意識すること
18		課題の解決策 (適用)
19	本時の自分目標	誰かに自分の考えを伝えること、自己肯定感の向上

プレゼンの力 (3段階評価, 3がとても良い)					
	声の大きさ	話す速さ	アイコンタクト	熱意	合計 (自動)
太郎	選択し...	選択し...	選択し...	選択し...	
琉球	選択し...	選択し...	選択し...	選択し...	
心	選択し...	選択し...	選択し...	選択し...	

③小浜二中



22 コウノトリ通信 令和7年12月22日(月)(12/19探究発表会振り返り)
中学校の探究とても楽しかった!



○先生方の振り返り (子どものよかった姿など)

- ・今までは3年生が率先して司会をしたり、感想や質問を発表したりしてきましたが、今回は、2年生が司会を進んで引き受け、1年生が挙手して質問をする姿が見られました。3年生の姿を見てきたからこそ、聞き方や発言することの大切さを学んでいる気がします。成長を感じ、うれしいなあ、と見ていました。(大橋)
- ・年々良くなっていると感じるのが、探究のサイクルを意識した発表が増えていることです。「上手くいかなかった(こうすればもっとよいかも!)
- ・自分で作って置いてなんですが…レギュレイトフォームの「自己調整の振り返り」を省いて探究の足跡をもっと残せるようにしたほうが良いと思いました。最終発表の振り返りではないです。すみません。(早)←次年度に期待!笑(板谷)

(その他ご意見など)

- ・自分の班の反省として、子どもと一緒にスライドの中身をしっかりと推敲することができなかったのが反省です

発表会を参観して下さった福井大学清川先生からのお言葉です。

- ・子どもたちが楽しみながらとにかく動いて来たことが伝わった。
- ・「問い」と「課題」の連いははっきりと認識できるといい。
(課題設定の背景がもう少し伝わるとさらにGood)
- ・文献調査、先行研究を調べてみるのも一つの手!
- ・言葉の定義を具体的にできるとより、活動が具体的にになっていくのでは?
(勉強を楽しくしたい!←「勉強を楽しく」とはどのような状態か?)
具体的な言葉や数値をで定義する。→エピソードで語る、深掘れる力

④高浜中学校

■特徴

- ・グループ探究
- ・「未来創造高浜プラン」

テーマ例

「バスケットゴール建設」：3on3のコートづくり

「内浦レモン」：内浦レモンを使ったデザートの再考

「七年祭」：CM・スライドづくり

⑤大島小学校

■経緯

- ・令和6年：探究支援**教員** ● 探究研修会**教員** ●
- ・令和7年：探究支援**教員** ●

■児童の主な取組み

「大島をPR」「海のゴミを生かそう！」

■主な支援内容

- ・全職員が共通認識を持つルーブリック作成を提案
⇒具体的場面の共有を提案
- ・他校との交流を提案 ⇒ 坂井市立雄島小学校と

2025 大島小学校 <目指す児童像> ルーブリック (高学年)

年 名前 ()

	1	2	3	4	5
自分や相手を大切にできる子	・あいさつをする。 ・いやなことを言わない。	・相手に対して、丁寧な言葉を使う。	・相手に対して、丁寧な言葉を使い、思いやりのある行動をとる。	・相手が悲しい時や困っている時に、気付き、手を貸そうとする。	・相手と意見が違ったり、争いごとがあったりした時も、冷静に相手を思いやった言葉で、解決しようとする。
たくましくやりぬく子	・楽しく学校生活を送る。	・自分の良さや得意なことに気づき伸ばそうとする。	・課題意識を持つ。	・課題意識を持って目標をたてようとする。	・自分で目標を決め、目標に向かって努力しようとする。
自ら学びよく考える子	・自分の考えを周囲に伝える。	・疑問や発見したことから考えを深める。	・与えられた課題について、メディアを利用して解決しようとする。	・自ら課題を見つけ、課題解決に向けて取り組もうとする。	・課題解決に向けて、周囲に働きかけて取り組もうとする。

⑥西津小学校

■特徴（6年生）：海×誰かを幸せにする

- ①おにぎり：おにぎりの味・具をよくするために、先生方だけでなく、シルバーセンターなど地域の人に聞くなど改善中
- ②塩：大相撲福井場所で使用。まだ食品レベルには…。
- ③ガチャ：ケースの中身は貝殻など。地域の祭りなどで好評。
ガチャの軸の固定が課題

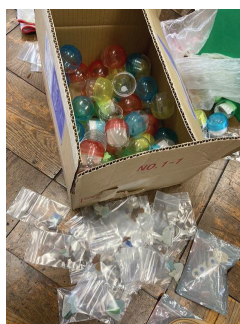
■支援等

- ・文献調査等の実施：塩の乾燥など、先行事例の調査を。
- ・幸せにした人の顔が見える行動を！

○良い点

こちらの質問にも自分の言葉で返せる。

クラス全体との時間で、私との時間の感想もすぐに手を挙げて発表



その他の学校状況

⑦中郷小

- ・ 探究参観と教職員との意見交換

⑧栗野小

- ・ 探究参観、・ 職員研修会（1/28）

⑨梅の里小

- ・ 探究担当教員との情報交換

⑩若狭高

- ・ 1年理数探究科第1回探究協働会議で生徒の研究テーマ決めに伴走

先生達の声から

- ◆ どうしたらいい？の答になるようなFAQを学校で作りたい。
⇒ 各校共通のFAQを各学校で！？
- ◆ クラウドのビックデータの中から探し物を探す生成AIを。
- ◆ **探究学習関係者が集まる場があるといいな！**
⇒ 次年度支援と共にネットワークづくりを！
⇒ 嶺南地区学校の自走を支援

◎ **学び合うコミュニティには、次の2つが必要。**

コミュニティ・オブ・プラクティス（E.ウエンガー）

- **フォーマルなコミュニティ**
- **インフォーマルなコミュニティ ⇔ ここの伴走を！**

ご清聴ありがとうございました。

**嶺南各校の探究学習のご支援を！
お願いいたします。**